



学校教育目標 <<本物の【あかぎの心】を育てよう>>

# モッテコイ 諏訪小魂！

長崎市立諏訪小学校 校長 山崎 直人

## 前期通知表配付

今年度から本校では、通知表配付を2回としました。本日、前期通知表を子供たちに渡しました。全校朝会でこのことについて次のように伝えました。

去年まで1年間に3回渡していた通知表を今年から2回に変えました。1年の半分が終わる9月の終わりと、1年が終わる3月の2回です。今日はその第1回目の通知表渡しの日です。

2回に変えることで、夏休みの間に、先生方がしっかりと皆さんの通知表を付けることができるようになりました。そのために7月は早く帰る特別日課を作らずに時間割通りしっかりと授業や活動を、最後の日まで行うことができました。12月も同じように、皆さんに向き合う時間が十分に取れるのです。もちろん、先生方も働きやすくなりました。

ここ数年で学校は大きく変わってきました。時代の変化や自然の変化に合わせてたり、感染症のような病気への対応をしたりして、変わってきたのです。これからも変わり続けるでしょう。

それでもずっと変わらないものがあります。それは、学校は、先生方が子供たちをより良く育てる場所であるということです。また、子供たち同士が力を合わせて学び合ったり、遊んだりしながら、成長する場所であるということです。どんなに時代が変わっても、学校の大切さは変わらないと信じます。

今日渡す通知表を作るために、先生方は、夏休みの時間などを活用して、皆さんの成績や学校での良いところ、成長したところなどをしっかりと見付けました。それが一人一人の通知表にすべて記録されています。今日は、先生方から通知表を一人一人受け取ります。その時のお話もしっかりと聞いて、通知表と一緒にお家の人に伝えてください。

さあ、来週から10月です。今年1年の後半戦に入ります。始業式に話したように「先生を信じる・仲間を信じる・自分を信じる」という心構えで頑張らしましょう。

## 平和集会

台風接近のため、8月9日にできなかった平和集会を2学期に入ってから行いました。

1階から2階へ上る中央階段の壁面には、全校児童が書いた平和標語と学年の平和への願いが掲示されています。折り鶴も一人一人が祈りを込めて折りました。

集会では、5年生全員による平和学習の発表がありました。1学期に原爆資料館見学をしたり、それぞれにテーマを決めて調べたり考えたりする学習をしてきていたのです。その成果を披露しました。見事な発表でした。

私は講話で次のような写真を用いて語りました。



左の写真は、東京の板橋区役所前にある平和記念像の立像です。長崎と同じ北村西望氏の作品です。右の写真は、北九州市にある「長崎の鐘」です。

長崎にゆかりのある物が、長崎ではないところにあり、長崎の惨劇を忘れずに平和を祈るシンボルとなっているのです。

子供たちには、1945年8月9日に長崎に原子爆弾が落とされて以降は、核兵器が人々の住む町に落とされたことはないこと、長崎を最後の被爆地にしなければならないことを伝えました。

そのためには「知ること・忘れないこと・祈ること・願うこと・伝えること」が大事だよと話したところです。

「平和は長崎から」。子供たちの心に平和の灯がいつまでも燃え続けてくれることを願います。